

京の伝統野菜「京たけのこ」の産地を守る

ノメイガ類による竹林被害が著しい長岡京市への側面的な協力。

○ 施策分類

病害虫

○ きっかけ・背景、課題の把握

春の訪れを告げる京都の代表的な旬の味覚として知られる「京たけのこ」の優良産地の一つである長岡京市において、外来種の蛾であるシナチクノメイガをはじめとする、ノメイガ類の幼虫が竹の葉を食害することで、竹の樹勢が弱る被害が深刻化。

市の範疇では対応が困難な状況にあり、被害状況の調査及び防除体制の構築など、市側から国に対して要望を行った。

○ 取組の内容

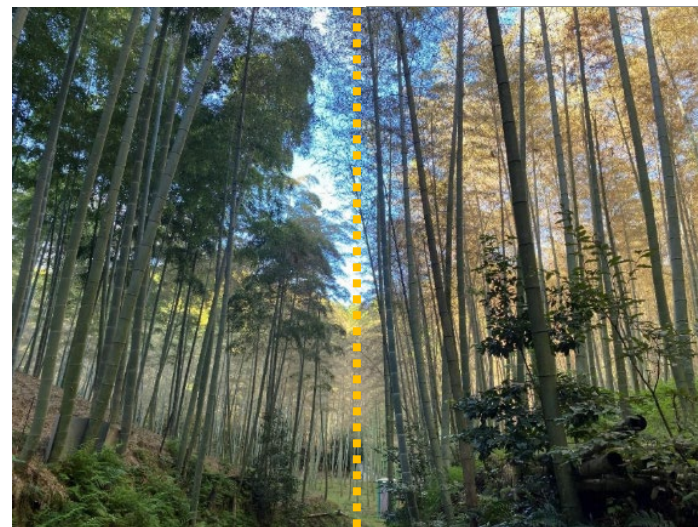
市から情報提供を受け、被害が著しい竹林において現地視察や生産者へのヒアリングを実施し、被害状況について把握。

本局担当課へもこの現況について迅速に共有しつつ、防除に資する事業メニューの紹介を行った。

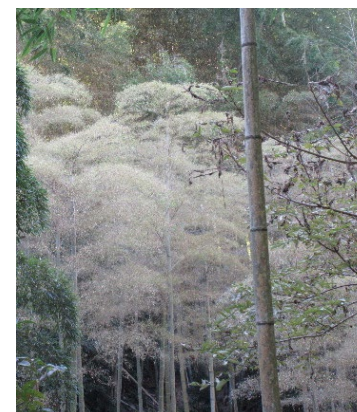
また、市は被害に関する生産者アンケートをウェブサイトで実施し、その結果の公表を行い今後の病害虫対策の参考としている。

○ 効果・成果、今後の方向性

生産者個人での防除に限界がある広範囲な被害についての相談には、引き続き丁寧に対応しつつ、現状(現地)の迅速な把握に努め、担当課への共有を行うことで、早期に課題の解決に繋がれるよう必要な取組を行う。



左：薬剤散布あり、右：薬剤散布なし



被害状況
(加害された葉は褐変する)

体制図

長岡京市



京都府拠点



本局担当課